



有限会社 辻総合電機



SICS information

サイクスの情報をお知らせします

Vol. 43

産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月は、市内企業の所有する技術をご紹介する「我が社の得意技」などについてお知らせします。

我が社の得意技 ⑫

設計から一貫した自動機開発 有限会社辻総合電機 (小松町妙口)

得意技は自動機の開発



▲ 設備開発への思いを語る辻社長

「普通の自動機屋さん、ある程度完成した装置を利用するけど、うちは使う人の気持ちや重視して、何も無い状態からでも新しい設備を開発します」と(有)辻総合電機、辻義文社長は語る。

辻社長は山口県出身。20歳頃から5年をかけ、あらゆる機械産業28社を経験。自ら会社を経営し自分流の仕事をしたいという思いから、山口県で辻総合電機を設立した。その後、松山市に移転し、骨を埋める思いで5年前に西条市へ移転した。

通常、自動機の設備は、機械設計、機械加工、電気設備、

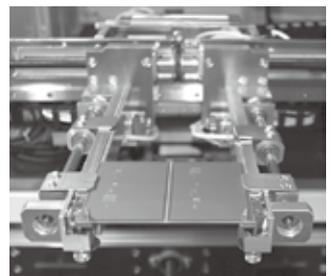
据え付け等、多岐にわたる会社それぞれが担当するが、辻総合電機では、辻社長の豊富な経験を生かして、自社で一貫して行うことができる。これにより、製造工程の大幅コストダウンを可能にしている。

製品の品質管理が必要

現在、辻社長が力を入れて開発しているのが、製品の品質管理を目的とした、電子基板へのQRコード印字装置である。電気製品には必ず基板が組み込まれているが、膨大な数の基板の製造履歴を特定するのは難しい。そこで、これらの基板にQRコードをレーザー印字することで、製造に関する情報を特定しようとするものである。

現在、片面へ印字する装置は多々存在しているが、辻総合電機が開発する装置の特徴は、省スペース内にて両面を同時に印字可能な多品種少量生産に適し、昨年末には特許

申請もしている。



▲ 基盤にQRコードを印字する印字装置の内部

※QRコードは、特許登録済みの登録商標です。

また、辻総合電機では、食品に直接レーザー印字することで、無害のまま食品のトレーサビリティ(履歴追跡)を確立しようとしている。

「僕は何かを作ることが好きなんです。子どもの頃からラジオを作りましたが、今の子どもたちにもこの楽しさを感じてもらいたい」と、西条市ものづくり科学創造クラブで講師を務める辻社長は話す。辻社長の熱い思いは、子どもたちへ着実に受け継がれている。

(レポーター…技術相談室アドバイザー 和田)



▲ 自動機の原理を子どもたちに教える辻社長

サイクスからの事業報告 津田GMが甘利経済産業大臣との意見交換会に出席

4月28日に経済産業省で開催された「コーディネット人材と甘利大臣との意見交換会」に、サイクスの津田ジェネラルマネージャーが全国のコーディネット人材代表の一人として招待されました。

本年度、経済産業省は小規模企業を支援するための地域力連携拠点を設置する地域力連携拠点事業、農業、商業、工業の連携を推進する農商工連携事業などを重点事業として掲げており、中小企業支援や食品加工流通コンビナート構想の実現に向けた取り組みを推進しているサイクスが全国的に注目を集めています。甘利大臣との意見交換は、

双方の話
題が尽き
ず、予定
時間を1
時間も超
過する、
3時間に
渡り行わ
れました。



集合写真(前列左端が津田GM)